

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	村山市役所
実習期間	平成 30年 8月 6日 ~ 平成 30年 8月 10日
学生氏名	門脇秀一郎
実習プログラム	<p>1日目 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の組織、業務、庁舎案内、政策推進課の業務説明など <p>2日目 楯岡高校跡地利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利活用検討の経過、現地視察、跡地利活用の検討 <p>3日目 地方創生関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生交付金制度について、施設視察（市民センター）、地域おこし協力隊について、地方創生交付金申請の実務研修 <p>4日目 ふるさと納税制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税寄付の PR 画面作成、寄付者への書類送付作業、住宅造成地視察成果発表準備 ・楯岡高校跡地利活用関係、地方創生交付金書類作成 <p>5日目 成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告会（ふるさと納税 PR 画面の成果報告、レポートの発表） ・第3回楯岡高校跡地利活用 WT への出席
学び・気づき (300字程度)	<p>政策推進課での業務では、今まで政策について学んできたことではわからないことが多く、それをより理解していくためには、自分から政策について幅広く学んでいく必要があると感じた。政策推進課は、ほかの部署の様々な政策の調整を担う部署でもあり、役所全体の政策の要となっていることが分かった。大学では、政策コースを専攻していることもあり、政策にかかわるインターンシップを行いたいと思っていたので、政策推進課に絞って業務に携わらせていただいたことが、非常に充実したインターン実習につながったと思う。発表という形で、職員の方々と意見交換させていただいたことは、将来の目標へのモチベーションにもつながり、自分をまた一つ成長させることができたと思う。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>私には、いくつかの夢があり進路に迷っていたが、今回のインターン実習が、将来の目標の決め手になった。確実にその進路に進めるとは限らないが、少なくともその目標を見据えて、努力をしていく段階に踏み入ることができた。今までは、大学で学べるだけ学んでいきたいと思い、出来るだけ多く講義を受けてきたが、これからは、講義以外でも政策の講座に参加したり、意見表明を行うような自分の考えを伝える経験を多く積んでいきたい。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>市役所での業務は、市民のために働きたいと強く思う人にとっては、非常にやりがいのある仕事だと思う。公務員という堅いイメージがあるように思われるが、そんなことはなく職場での会話があり、チームワークが良いという印象があった。部署によって違いはあるかもしれないが、基本的には出勤や休憩の時間が決まっており、メリハリをつけて仕事に取り組んでいた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	